

# Celesty

campus  
communication

セロリ No.32  
1999

中村学園大学  
中村学園大学短期大学部  
◆  
広報誌



写真上より  
・西一号館からの眺望  
・西一号館前  
・第二学生ホール

学長メッセージ 「新世紀に向かって大きく羽搏け」	P 1
卒業生からのメッセージ	P 2
退職者からのメッセージ	P 3
科学研究費補助金対象研究	P 5
卒業生の近況報告	P 7
定期演奏会「クリスタルハーモニー」	P 8
サークルリーダー研修会	P 8
制服制度についてのお知らせ	P 9
新学部校舎起工に伴う施設変更について	P 9
後援会地区連絡会	P 9
廣畑教授「がん」に関する本を出版	P10
児童学科講演会	P11
栄養科学研究科主催学術講演会	P11
調理学実習講座	P12
全国栄養士・保母養成施設協会会長賞	P13
外国人研究員受け入れ	P13
試験入学選考積雪のため時間繰り下げ	P13
キャンパスこの一年の動き	P14
海外出張の記録	P14
広報誌セロリの定期購読について	P14

## コラム

「子どもの心」	P 4
「広く世界に目を向けて」	P 6
「元気なサークル」	P 8
「健康生活のススメ」	P10
一冊の本「JAPANESE STYLE」	P12



同じ中村学園のキャンパスに学びつつ、それぞれの考え方や夢をもち、それぞれの専門性を身につけた多くの卒業生が今年も社会へとはばたいていきます。卒業にあたり、本学で経験したこと、様々な思い出や将来の夢を聞いてみました。

# VOICE

## 卒業生(3月卒業)からのメッセージ

成長した自分を実感できた



【大学・児童学専攻】  
有村 貴紀

入学後、社会福祉研究会というサークルに入りボランティア活動をしました。サマーキャンプでは子ども達と自炊したり、レクリエーションをしたりして、協働することの大切さを体験。キャンプが終わる頃には子ども達とスタッフの間に深い絆ができ、別れるときは涙が出そうになりました。忘れられない思い出の一つです。

またこのボランティア活動を通して大学の友達以外にもたくさんの人達に出会えて良かったと思います。その人達とふれあい、共に考え、支えあいながら自分が成長していくのを実感できました。在校生のみならず、夢に向かっていろんなことに挑戦をしてみてください。

管理栄養士を目指します



【短期大学部・食物栄養科】  
林 愛

栄養士の仕事には多方面にわたる知識が必要というのを学外実習で痛感し、また、専門だけでなく、それ以外の分野の本をもっと読んでおけば良かったと思います。研究や調理実習では「基本」からしっかり学ぶことができた。また、良き友人、そして素晴らしい先生方に恵まれました。これからは、管理栄養士を目指して頑張ります。

# 新世紀に向かって大きく羽搏け

学長 山元 寅男



平成十年度に本学の大学院、家政学部並びに短期大学のそれぞれの課程を無事終了され、めでたく社会に巣立つて行かれます。皆さん卒業誠にめでたいと思います。私も皆さんの教育に当りて参りました教職員一同心からお慶び申し上げます。

皆さんは、大学院栄養科学研究科において二年間、研究者として、また高度職業専門家として必要な基礎的知識と技術を、家政学部において四年間、食物栄養学と児童学をそれぞれ学ばれ、専門家としての一般基礎的な知識と技術を身につけられました。短期大学部にあつては二年間、食物栄養学、家政学、幼児教育学の基礎を学ばれました。何れの学部におきましても、知識や技術といった学

問を修得されたのみならず、何よりも大切なことは、学園中村八先生達の建学の精神に裏打ちされた、高等教育を受けた者に必要な人間としての態度を学ばれたことではないかと。

本学での就学期間は言わば、皆さんが社会に羽搏いて行かれるための助走期間であつたといつてもよいでしょう。飛び立ちた以上は、自らの努力と工夫で、失速しないように、たえず最新の知識や技術を習得し、自らを研磨していかねばなりません。これから皆さんにとって人生航路のはじまりです。何事もはじめが肝であることを忘れないで下さい。

現今の我が国の社会情勢を思うとき、まさに暗澹たる気持ちになります。日本人は、あらゆる分野で自信をな

くしてしまつた様に思えてなりません。これまでの我が国の繁栄に安住しきつて、これから訪れようとする危機に對し、何ら対応すべき手立ても考えず、それを乗り切るだけの氣力を失つてしまつた日本人の姿だけが哀れにみえてなりません。

翻つて我が国の近隣諸国には、我が国の威信にかけて必死に国家の繁栄への努力を怠らないところが数多くあります。我々も、戦後復興期のあの努力を顧みて、今一度、日本人としてのアイデンティティーを確立し、安寧な日本を築くよう努力しなければ、我が国の行く末は危ないものとなるでしょう。皆さんは本学で得られた知性と感性とをもち、この難局を切り抜けるよう、皆さんの各分野で努力して欲しいと思います。

皆さんは本学在学中、これまでに多くの人々との出会いがありました。先生との素晴らしい出会い、学友との心暖まる出会い、その何れでも、心の底から湧き上つてくる感動を覚えられたことではないかと。この感動はいつまでも皆さん心の糧として、皆さんの人間の成長を支え続けていくことではないかと。この出会いを大切にしてください。

皆さんは、これからの日本を背負つて頂かねばならない方々です。現在皆さんが直面している我が国の現状を十分認識され、如何なる困難にも打ち克つことができるだけの力を蓄えてください。

皆さんの健康と二層の活躍を願つて止みません。

「いろいろな体験」が大切



【大学・児童教育学専攻】  
甲斐 美樹

親元を離れ、友達もほとんどない地での寮生活のスタートでしたが、まじや叔しさを感じるのもつかの間、すぐに仲良しの友達もでき、朝までおしゃべりしたり、試験勉強をしたり、とても楽しい日々でした。勉強はもちろんなアルバイトをしたり、いろいろな所へ行ったりして、いろいろな経験をしました。人から聞いたことに素直に従うことも大切ですが、実際に体験して、自分なりに物事の大切さや意味を学んでいくのはとても大切なことだと思ひます。努力の上に花が咲く。この言葉通り、これから頑張ります。

保母として頑張ります



【短期大学部・幼児教育科】  
野田 智子

毎日がとても楽しかったように思えます。サークル(社会福祉)活動は視野が広がりが本当に良い経験でした。保育園には本科の先輩が多く、また、実状に詳しい先生方がいらしたので、不安な実習等でも大変心強かったです。夢だった保母になれるので、現実とのギャップに負けないよう、精一杯頑張りたいと思ひます。

念願の「病院栄養士」に



【大学・管理栄養士専攻】  
小川 真矢

大牟田から電車通学をして、四年が経ちました。自宅から大学まで約二時間半。一年生の頃は、一眼目からの授業が多く、特に冬の早起きは辛いものがありました。が、今となっては良い思い出です。

大学で、毎日きつり組み込まれた講義や実習、実験、レポートなど、大変でしたが、たくさん知識と技能を身につけることが出来、嬉しく思ひます。四月からは念願の病院の管理栄養士として、気配りと笑顔をもって頑張りたいと思ひます。

今の瞬間を大切に



【短期大学部・家政科】  
森山 薫

学園祭の実行委員やサークル活動を通じて、他の学科にも多くの友達が出来ました。また、社会に役立つ資格が取得できたことや、カナダへのホームステイでは大目に見つめ直せたことが印象に残っています。社会人としての自覚をもち、ほかの人にも思ひやれる人になるように、一日一日を過ごしていきます。今の瞬間を大切に過ごしてください。

心に残る学生生活を



【大学院・栄養科学研究科】  
山崎 里美

修士論文は然ることながら、初めての学会発表はとても貴重な経験でした。あの緊張感、生涯忘れることのないと思ひます。四年間の寮生活を、中村学園での六年間にはかけがえのない友人や先輩に恵まれ、私の思い出が詰まっています。今の自分、にいかできないことを見つけて、チャレンジしてみてください。そして、学生時代の思い出として心に残るような充実した学生生活を送ってください。

型にはまらない接し方が大切



【大学・食物栄養学専攻】  
高原 由起子

一番の思い出は卒業です。九大と合同で行われている久山町の住民健診に参加して、食事調査を行いました。一般の方からの聞き取りは不慣れで大変でしたが、その中で学んだのは、「対象者が百人いれば百通りのパターンがある」ということ。全ての人に同じ原理があてはまるとは限りません。その人に応じた接し方をしなければいけないというのを実感しました。四月から、入学当時から夢だった家庭科教諭として働きます。大学で得た経験を生かして頑張りたいと思ひます。



# 退職される方々からのメッセージ

## 「温故知新」

児童学科  
教授 白木 静枝



平成十一年三月、三十七年間勤めた中村学園に別れを告げます。私が学園祖中村ハル先生にお会いしたのは昭和三十七年九月でした。先生の教育に対する信念と情熱には揺るぎないものがあり、畏敬の念を禁じ得ません。昭和三十年代は著しく教育界が荒れていた時代ですが、先生は「日本人は日の丸を大切にしなければならぬ。君が代は日本の国歌だ」と主張され、校舎に高々と日の丸を掲げられていました。先生の人間教育論は日本の教育の指針であったと思います。昭和四十年四月中村学園大学創立、初年度は専任教員は少数でしたが、毎朝学長室で朝礼があり、「一学生から躰けを厳しくして、よい伝統を築かねばならない」と、率先して厳しく学生の指導にあたられました。躰けとは心の教育です。清節・感恩・労作は建学の精神の中にあります。品位ある服装・容儀（礼儀正しい態度）は人間として大切なこと

です。学内の一斉清掃は労作の精神で学生と教員が共に素足になって床磨きをしました。学生との心の触れ合いが出来ました。光った教室・美しく磨かれたガラス窓、誰ひとりゴミや吸殻をポイ捨てすることもなく、美しい環境を自分達で作る教育がなされました。少し思い出を語ります。

あの頃は「学生がよく挨拶をした。よく勉強もした。教育実習前は、自宅に大勢やって来て指導案作りや授業の仕方等、夜遅くまで真剣に練習をした。日暮れまで共にスポーツに興じた。よく遊びに来た。」等々回顧していると、ふと、錯覚ではなかったかと疑ってしまいます。今、学校は目まぐるしく変わっています。そして、幼児期から大學生・大人に至るまで、豊かな人間性を育てる事の重要性・家庭や学校での教育力の充実が問われています。

優れた栄養士・良き教師の育成、プラス強い教育力を持った人材を世に送り出すことは本学の使命ではないでしょうか。教育の荒廃した中から、「人間教育は私学で」と説かれた学園創立者が建学の精神にこめられた「人づくり 厳肅な教育力 は不滅です。時々立ちどまって考えてみることは必要ではないかと思うのです。」

## 「感謝」

児童学科  
教授 権藤 與志夫



退職にあたり中村学園大学、中村学園大学短期大学部の皆様一言御挨拶申し上げます。この七年間おかげさまで大過なく過ごすことができました。ひとえに皆様の御指導、御高配の賜物であります。衷心より厚く御礼申し上げます。

本学に採用になる前に、中村学園女子高校や、中村栄養短期大学などで非常勤講師として勤務したことがあります。中村ハル先生が女子高校の卒業式の後、卒業生一人ひとりと握手をされていた姿をよく覚えております。先生が残された「努力の上に花が咲く」というメッセージはまことにすばらしい人生訓であります。この詩のような人生訓は私たち一人ひとりに希望を抱かせます。努力をすれば私なりの花を咲かせることができると。

本学の先生の皆様、特に児童学科と幼児教育科の先生方、長い間の御厚情と御支援、まことにありがとうございます。特に学科長・

科長としての四年間に賜りました御指導と御協力には厚く厚く御礼申し上げます。順不同ですが、事務局の皆様、長い間大変お世話になりました。ご迷惑かける事が多く、まことに相済みませんでした。皆さまのすばらしい仕事ぶりとお親切を決して忘れません。

学生の皆さん、私のつたない講義を熱心に聴いてくれてありがとうございます。真剣に回答してくれてありがとうございます。おかげでこの七年間、特に、教育面で専念できたこの一年間は最高に幸せでした。過ぎ去ってしまったのが惜しまれる日々でした。教育史、教育制度、教育原理、保育原理、児童学研究法、さらに卒業論文ゼミなど皆さんと共に学んだすばらしいその時々を決して忘れないでしょう。直接間接にお手伝い頂いた助手の方々には、授業でも、事務処理の面でも、特に先生の指導や連絡などで、大変お世話になりました。楽しく仕事ができただけで、最高のパートナーであった皆さんのおかげです。

中村ハル先生と中村久雄顧問が築かれた基礎の上に立って、中村量一理事長と山元寅男学長の卓越したリーダーシップの下で、本学が個性豊かな私学として益々発展されることを確信し、かつ心から祈念申し上げ御挨拶いたします。

## 「花の生涯 青春の一抔」

食物栄養学科  
教授 木下 武人



いかんせん別れや悲し  
春が逝く 武人  
縁あって中村学園大学へ奉職して、十六年無事に勤めることができました。先ずは皆様のやさしいお付き合いに御礼申し上げます。学園祖中村ハル女史の「努力の上に花が咲く」は人ごとでなく、自分のことに置きかえて見るとい

ささか感慨深いものがあります。そして、花の女子学生、花の乙女らと生涯の半生を過ごす花の生涯を生きることが出来ました。

久雄理事長との小宴  
昭和五十九年の春、日本経済新聞社の季刊専門誌『消費と流通』に三力年にわたり連載された「伝統工芸と先端技術」の原稿料で、小宴を設けました。

久雄理事長が「木下先生！原稿料で酒を飲むなんて初めてですよ。気持ちがいいもんですね」喜ばれた顔が、紫雲庵の庭の椿の朱と対照的であったことを懐かしく思い出します。

家政科の乙女達との東京研修、デザイナー花井幸子さんとの再会、その人のデザインが制服となる不

可思議な縁……。毎春のゼミ研修、シールト研修、ハウステンポスのチューリップ祭、有田青花の染焼の思い出は人生の縁と夢、そのものです。

流行の経済学  
ファッションの経済学はミニスカート、インベーター、たまごっちの製品寿命、車・ビール等の非価格競争など、そして夢の講義「生活文化論」アンネの日記、ロシアの花嫁、ベンツの車等々、学園での過ぎし日は私自身の花の生涯、青春でした。

会ふことの別れとなりぬ  
はつしぐれ 武人



## 【子どもの心】

29

大学・児童学科  
助教授 佐々木 美智子

誰もが、家庭の幸せを願って、朝から晩まで頑張っています。お父さんは働きバチ、お母さんは家事も仕事もこなし、子供はお稽古や塾通い。ふと気がいたら我が家は単に寝るためだけに帰っている。子ども達は、ファミコンや携帯電話にしがみつき、親が話しかけても「べつにー」と答えるだけ。こんなはずではなかったのに。「今の教育に問題があることはわかっています。しかし、我が子の失敗をみすみす見逃すわけにはいきません」と、お母さんはトサカをついた雌鳥のように、「早く、早く」と子供を追い立てがちです。我が子の将来の幸せを願えば願うほど、家庭があおりと緊張の場と化す、家族のパラドックス。

子どもは、親があるがままの自分に信頼感をよせないと、自己肯定感が育たず、自分に自信がもてなくなります。ある子どもは、社会に出て行くのが困難になり自己愛の殻に閉じこもり、またある子どもは、ストレスや不満を友達や学校にぶつけることもあります。

伝言ダイヤルやネットでの会話が若者に利用されているのは、匿名なので親や友達には見せられない本音の悩みが語り合えるからだそうです。

子どもの心が傷ついているのを見逃していませんか。子どもをしっかり受け止めてあげれば、ほっとして話はじめます。柔らかな春のひざしの中で、静かなティータイムでもいかがでしょうか？心がほぐれ安定すると、子どもはまた成長へのステップを踏み出します。



# 平成10年度 科学研究費補助金 対象研究の目的と内容

栄養は食行動を制御でき  
るが  
糖尿病ラットにおける  
マイクロダイアリシス法を  
用いての脳内神経伝達物  
質測定による検討



食物栄養学科  
基礎研究(C)(2)  
教授 青峰 正裕(代表)

長期にわたる栄養欠乏や環境毒  
性物質への暴露は脳機能や行動の  
変化をきたすが、短期間の栄養的  
変動もそれらを変化させる可能性  
を最近の研究は示している。つま  
り、時々刻々に変動する栄養素利  
用性が、中枢神経系での神経伝達  
物質合成と活性を変化させうる。  
このことは食物が神経伝達物質合  
成を変化させることができ、ひい  
ては精神・行動障害の治療への食  
物の可能性を示している。一方、  
日本における糖尿病患者は年々増  
加傾向にあるが、糖尿病患者の空  
腹感と異常な食欲は糖尿病の症状  
でもあり、彼等がしばしば異常食  
行動を示すことが知られている。  
そこで本研究では、脳の様々な神  
経伝達物質の中でセロトニンに注  
目し、脳内マイクロダイアリシス  
法によって、食物摂取と食品選択

へ、セロトニンレベルがどのよう  
に影響するのか、そして糖尿病状  
態の持続によってそれらがどのよ  
うに影響されるかを自然発症型糖  
尿病ラットを用いて調べる。



食物栄養学科  
基礎研究(C)(2)  
教授 伊藤 和枝(代表)

肥満がもたらすインスリン抵抗性  
による高インスリン血症は高血圧、  
高脂血症、糖尿病を引き起こし、動  
脈硬化による心血管病を発症させ  
やすいと言われている。最近、脂肪  
細胞から特異的に分泌されるob連  
伝子産物レプチンが発見され、レプ  
チンは食欲調節関連の中枢に作動  
し摂食行動を抑えるのみでなく、同  
時に生体のエネルギー消費を亢進さ  
せ、インスリンと関連の強いことも認  
められてきた。私共の成績でも減量  
に伴い血清レプチン濃度は低下し、  
レプチン抵抗性の存在が示唆され、  
レプチンが肥満高血圧発症に何らか  
の影響を及ぼしている可能性が考え

肥満高血圧の減量による  
降圧機序と栄養・運動因子  
特にインスリン抵抗性と  
血清レプチン濃度

られる。

本研究では、肥満クニマツの単純  
性肥満者を対象に、血圧と 肥満  
の脂肪蓄積部位、インスリン抵抗性  
ob連伝子産物レプチンの関連を  
横断的のみでなく、体重減少・増加  
の場合についても縦断的検討を行い、  
それに関わる食事ならびに運動因  
子を明らかにしたい。

環境保全に役立つケナフ  
の教材化に関する基礎的  
研究



児童学科  
基礎研究(C)(2)  
教授 宮田 奈美子(代表)

従来、再生産可能で、地球にや  
さしい物質の一つであるセルロー  
スの研究を、石油が原料の合成高  
分子全盛であった頃から行ってい  
るが、数年前から森林資源である  
セルロースの代わりにもなるケナ  
フという植物に注目して、そのセ

ルロースやヘミセルロースの構造・  
性質を研究している。

ケナフは、西アフリカ原産とさ  
れ、広く栽培可能で、播種して五  
〜六ヶ月で、茎長が二〜四mにも  
なり、二酸化炭素吸収能も大きく、  
非常に生長が早い一年生植物であ  
る。現在、一部の学校教育の現場  
で、ケナフの栽培や紙作りなど実  
践されているが、本来、熱帯の原  
産であるため、温帯の日本におけ  
る基礎的データが少ない。

そこで、本研究は、ケナフを環  
境教育や理科教育の教材とするた  
め種類の異なるケナフの栽培、環  
境にやさしいパルプ化・紙作り、  
花の色素の研究、葉の二酸化炭素吸  
収能や根の重金属吸着能、種子の  
油脂の研究など基礎的事項を研究  
したい。



運動ニューロンの形態適  
応を惹起するトレーニン  
グ条件の確立



児童学科  
奨励研究(A)  
助手(併任講師) 中野 裕史

本研究は、運動ニューロンの形  
態を変化させ得るランニングトレ  
ーニングの条件(強度、時間等)  
をラットを用いて確立することを  
目的としています。  
運動ニューロンは、骨格筋とと  
もに運動発現に必要な最小ユニッ  
トであるため、トレーニングによ  
る運動ニューロンの特性の変化を

調べることは、運動機能を考える  
上で非常に重要であると思われま  
す。

適度な身体運動の継続(トレー  
ニング)は、体力の維持・増進や  
運動機能の維持・改善に有効であ  
ることが広く理解されるようになって  
きました。しかし、残念ながら  
ら、運動機能に深く関わる神経系  
の適応については非常に限られた  
知見しか得られていないのが現状  
です。

本研究は、トレーニングによる  
神経系変化のメカニズムを探る上  
で重要な実験モデルを提供すると  
ともに、運動機能の向上、および  
回復に役立つ安全で効果的なトレ  
ーニングを提供するための基礎的  
な知見となることが考えられます。

談話分析による、  
認知トレーニングを導入  
した英語学習タスクの中  
間言語発達過程の検証



家政科  
講師 中谷 安男

言語習得研究の分野では、外国  
語学習において言語の認知トレー  
ニングを取り入れ、学習ストラテ  
ジーを構築させながら、現実のコ  
ンテキストを経験させる方法が有  
効であると考えられている。しか  
し、これらのトレーニングを導入  
したコンテキストの真の有効性は、

与えられたタスクにおいて、学習  
者が実際にどのように英語を使用  
し、コミュニケーションを成立さ  
せるためのストラテジーを身に付  
けて行くのか、直接分析する必要  
がある。現在、日本人英語学習者  
の、特定タスクによる言語能力の  
向上を測る間接的な言語テスト(リ  
ーディングやリスニング)による  
検証は行われているが、実際の談  
話分析による中間言語の検証は、  
ほとんど行われていない。この研  
究において、言語の認知トレーニ  
ングを重視した、現実の場面を想  
定したタスク導入により、学習者  
が中間言語をどのように発達させ  
て、英語を習得していくのか、言  
語の意味交渉の側面に注目し、談  
話分析を行い検証する。

## 広く世界に 目を向けて

6

短期大学部・家政科  
教授 才田 眞喜代

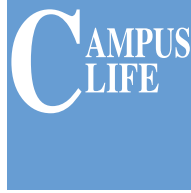
日本経済の破綻など予想だにしてい  
なかつた頃、私はアメリカの新聞の見出しで、  
Simple life is the best.という言葉に出  
会った。その頃は高度経済成長に浮かれ、  
日本全体が「暖衣飽食」を楽しみ、シン  
プル・ライフとはほど遠いものであった。  
やがて、バブル経済の終焉を迎え、地  
球環境・資源問題・ゴミ問題などが大き  
くクローズアップされ、生活の見直しを  
せまられた。

しかし、バブルの頃に身につけた新た  
なファッションを身にまとう楽しさや、  
消費への欲望はそう簡単に消え去らない  
ものである。  
丁度その頃、チャンスが訪れた。それは、  
家政科の一年次開講科目である文化海外  
研修の引率であった。研修地はバンクー  
バー、期間は春休みの3週間である。  
カナダ第三の都市バンクーバーは湾岸  
に建てられた高層ビル群と、手つかずの  
自然をそのまま利用した広大な公園が共  
存する美しい町である。美しい環境を大  
切にし、おらかな生活を送る人々と大  
自然とが見事に調和していた。

研修先のバンクーバー・コミュニティ・  
カレッジは公立の職業訓練校で、就職の  
第一条件である資格や免許の取得を目指  
して、多くの若者が学んでいた。私は先  
の第二次世界大戦中に強制収容の体験を  
持つ日系人の家庭に滞在した。そこには  
節約の精神が生き続け、シンプル・ライ  
フが営まれていた。それは、彼らにとっ  
て苦痛ではなく、誇りを持って選んだ生  
活スタイルのように私には思えた。



第25回定期演奏会を開催(クリスタルハーモニー)  
サークルリーダー研修会を実施  
元気なサークル



# 卒業生の近況報告

田原 みどりさん(短期大学 食物栄養科 平成五年卒)



入社当時(平成5年5月)南宮崎駅にて

私は、平成五年に短期大学食物栄養科を卒業し、現在はJR九州大分支社に勤務し客室乗務員をしております。  
福岡の方には「つばめレディ」といった方が分かり易いかもしれませんが、私が入社した六年前は、大分に初めて組織を充足させるという事で、多くの苦難もありました。私どもは「つばめ」「にちりんシーガイア」「ゆふいんの森」「ソニック」に二丁四名のクルーを組んで乗務し、お客さまの旅のお手伝いをしております。  
グリーン車では改札から始まりおしぼりやドリンクをお出ししたり、ピュッフェやワゴンサービスではきめ細かな対応を行うなど、

マニュアルにある業務はもちろんです。それ以外にも、さまざまなお要望に出来る限りお応えし、少しでもお客さまの心に残るサービスの提供に努めています。  
「つばめ」には用途や人数によって選べるように個室やトップキヤビンがあり、テーブルを挟んだ対面式座席が採用されています。ビジネスの方にはちょっとした会議に、旅行の方にはゲームなども楽しめます。トイレも飛行機と同じ真空式で、車椅子の方も利用して頂ける広いトイレもあり、設備等のハード面は十分に整っています。あとは人の力、ソフト面でのサービスがいかにお客さまを満足させられるか。その重要なポイント

ションに私たち客室乗務員がいるのです。  
早いもので私も丸六年を迎え、現在はチーフとして新人客室乗務員の教育に携わっております。  
一体どんな教育が行われているのだろうか?と皆さん、興味がある所ではないでしょうか。  
まず、入社後二週間は机上教育が行われます。お辞儀の仕方や歩き方などの立ち居振る舞い、切符についてや発声、身だしなみなど沢山の事を身につけた後、いよいよ念願の乗務見習いが始まります。  
新人には一人一人にインストラクターが付く、業務の事だけではなく、精神的なフォローもしていきます。三ヶ月後には車掌業務(改札)が出来、半年後にはソニック、一年後にはゆふいんの森と、経験年数に応じて業務も増えていきます。又、乗務以外にも地域のイベントに参加させて頂く事もあります。  
私も新人の頃は失敗ばかりで、先輩やお客さまに叱られる度に自信を無くしてしまいました。辛い事も多々ありましたが、それらも全て良い経験となり、自分自身の成長へとつながった気がします。  
短大の頃は「自分は絶対接客業には就かない」と思っていたのに不思議なものです。今は毎日が楽しく



お世話になっている車掌さんと一緒に(平成11年1月)博多駅にて

## 第二十五回定期演奏会を開催(クリスタルハーモニー)

大学 食物栄養学専攻二年 今村 菜保子(クリスタルハーモニー部長)



12月4日:ももちパレスにて

『クリハ』と『クリスタルハーモニー』は歌が好きな人の集う女声合唱サークルです。毎年七月と十二月に開催する演奏会(コンサート)を目標に元気に活動しています。特に十二月の定期演奏会は、会場の予約から歌の選曲・ステージ構成など全てを部長が中心となって作り上げる一大イベントです。  
あるステージは台詞や踊りを考えてちよっとしたミュージカル風に仕上げたり、また別のステージではプロのピアノの先生とOGの先輩をお招きして組曲を歌ったりと、演奏会を聴きに來られたお客様が少しでも喜んで下さるよう、毎年様々な工夫を凝らしています。  
演奏会を開くまでには大変な苦労したりすることもありますが自分たちで作った白ドレスを着てステージに立ち、それまでの練習の成果を

## サークルリーダー研修会を実施

大学 児童教育学専攻二年 松永 茂樹(大学学友自治会長)

十二月十三・十四日の二日間、各サークルの部長・会計、学園祭実行委員会、代議委員会等各機関の委員長及び会計担当が、セミナーハウス「ほくさん」にて、リーダー研修会を実施した。  
この研修会は、リーダーとしての心構えの習得、自治会執行部や学校への質問・意見を述べる場として、またサークル活動の活性化・円滑化を図る等の目的で毎年実施している。  
歌にできた時、そして沢山の拍手をいただいた時に、もう一度ステージに立ちたい」と誰もが思います。これこそがクリハのバリーの源であり最大の魅力なのです。楽しいだけではなく、真剣に活動するサークルの良さを、クリハで体験できたと思います。

「ほくさん」に到着してすぐ、先生方の講演、フリートークング、さらに、書類作成の説明や、自治会規約・サークル規約の説明があった。  
フリートークングでは、サークル活動を行うに当たっての問題点や学校に対する要望等の意見が活発に提案され、規約や書類提出の手続き等も理解してくれたと思う。  
二日目は、参加者全員により、ドッジボールを楽しみ、相互の親睦を深めた。  
このように研修のプログラムは有意義に終了したが、新部長のもと新しい体制でさらにサークル活動が活発になることを期待している。

# 元気なサークル

(22)

## 合気道部



顧問 原 孝之 助教授  
部長 菅 弥栄子  
活動日 月・水・木  
部員数 17名

私たち、大学・短期大学部合同合気道部は週3回、放課後に稽古をしています。合気道は他の体育系サークルとは違い、試合がありませんが、演武会という、いわゆる発表会があります。また、昇級審査もあり、それらに向けて自分の技を磨くため、日々稽古に励んでいます。

現在部員は少ないですが、その分、団結力があり、皆仲良く和気あいあいと活動しています。

合気道はどちらかと言えば暗いイメージをもたれがちですが、そんなことはありません。健康のため、特に女性には最適な護身術にもなるため、みんな楽しく頑張っています。

また、最近は外国人にも人気が出てきているようで、道場を訪ねる人もいます。国際交流の掛け橋になるかもしれません。

武道に興味があるけど堅苦しそうと思っているあなた、護身術を学んでみたいというあなた、自分を磨きたいというあなた、部員は皆大学から始めた人たちがばかりです。気軽に訪ねてみてください。部員一同、心よりお待ちしております。



◎廣畑教授「がん」に関する本を出版  
◎健康生活のススメ



制服制度についてのお知らせ  
新学部校舎起工に伴う施設変更について  
平成10年度後援会地区連絡会



# 制服制度についてのお知らせ

卒業まで制服を着用できること  
となっております。

中村学園大学・中村学園大学短期大学部では、創立以来「品位ある服装・容儀」をモットーとして制服に関する基準が定められてきました。平成十二年度に新設される流通科学部（設置認可申請中）の設置に伴い、制服に関する規程は廃止となり、制服着用は必須ではなくなりません。



なお、平成十一年度については従来通り制服着用であり、引き続き

# 新学部校舎起工に伴う施設変更について

平成十二年四月の大学流通科学部開設に向けて新校舎の起工式が平成十年十二月十九日に執り行われました。

新校舎の起工に伴い、一部の施設が変更となりましたので、主なものをお知らせいたします。

- ・西五号館 サングラウンドへ移築
- ・西四号館、三友舎 解体
- ・健康増進センター、美術研究室 旧紫山寮跡へ移転

・美術教室 一〇一（東三号館一階）、第三学生ホール（東一号館二階）へ移転  
なお、西門から南方への市道は本学所有となり新学部校舎工事のため通行止めとなっております。  
工事期間中、特に、西門付近は、資材搬入等で車の出入りが多くなりますので、事故のないよう十分注意しましょう。

# 平成十年度後援会地区連絡会

平成十年度の後援会地区連絡会が二月二十一日から三月七日まで本学を含め九州内の八地区で開催された。連絡会では、教育・研究の近況報告とともに、在学生の学修・生活・就職状況に関する全般的な報告、教員による個別面談及び、就職等の専門スタッフによる個別相談が行われた。

この連絡会は、より良い教育効果をあげるために、学園関係者と学生及び保護者が互いに連携をとり、協力し合うことが必要であること、また、保護者からの意見も本学の教育研究に出来る限り反映していきたいとの考えから開催されている。

平成10年度 後援会地区連絡会の日程・会場

地区	平成11年 月・日	会場
北九州	2月21日（日）	チサンホテル小倉
佐賀	2月21日（日）	若楠会館
鹿児島	2月27日（土）	ステーションホテル ニューカゴシマ
大分	2月27日（土）	大分西鉄グランドホテル
熊本	2月28日（日）	チサンホテル熊本
長崎	2月28日（日）	ホテルニュー長崎
福岡	3月6日（土）	本学
宮崎	3月7日（日）	宮交エアラインホテル

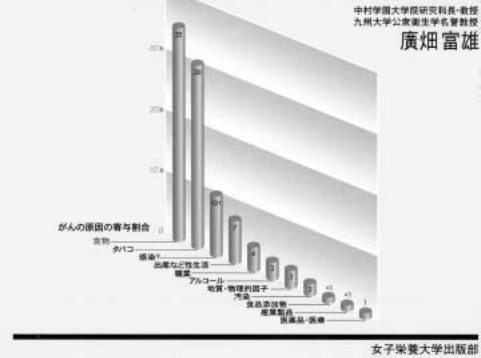


# 廣畑教授「がん」に関する本を出版



## 食事しだいでがんは防げる

世界がん研究基金、アメリカがん研究機関の報告書より  
がん予防食事法の最新情報



がんの発生や予防に関する栄養、食物についての情報は、毎日のようにテレビや雑誌で紹介されています。わが国では、がんの死亡率が心疾患をぬいて第一位になっており、がんに関する情報の収集については研究者のみならず一般の方々も大きな関心を寄せている現れだと思えます。このたび、本学大学院研究科長の廣畑富雄教授が「食事しだいでがんは防げる」を出版されました。これは、一九九三年に開催された世界栄養会議のシンポジウム（栄養を変え、世界をよめるがんの予防）における世界の多くの学者の議論がきっかけとなり、その翌年から十五人の学者が三年半にわたって、世界の四千五百に及ぶ研究結果を検討

して食物、栄養とがんの予防世界的見地からの報告書にまとめ、さらに「がん予防のための十四か条の勧告」を行いました。勿論、その会議には著者である廣畑教授も日本を代表して参加されており、今回の出版は、それらの概説に加えがん予防のための十四か条の解説とそれぞれの条項ごとに日常の食事のあり方を女子栄養大学と協力して多くの具体例（料理）をあげながら説明しています。その実践はがん予防に役立つだけでなく、他の生活習慣病予防にも役立つものであることを付け加えておきます。  
（文責／食物栄養科 城田 知子）

# 健康生活のススメ

30

大学・食物栄養学科  
教授 広井 祐三

エビで鯛を釣りに行く。二神島は呼子の沖合、乗り合い船で約40分の所にある。親と子二神、カラトと呼ばれる3畳ほどの瀬からなっている。夕方4時に出発、夕まずめ時に釣って、徹夜で釣って、夜のケミホタルを50m,100mと流しながら、それをじっと見つめて一晩が明ける。

エビも鯛もともに「めでたい」時に供される。鯛はまさしく、めで鯛からきているのであろうし、あの「あざやかさ」にもよるものだろう。エビは私は長いこと、腰の曲がるまで無事でありたい、との願いから来ているものばかり思っていた。しかし、そうではないらしい。エビが常に祝いの席に出され、真に尊ばれるのは、エビが常に新しい体に脱皮することにあるらしい。常に殻を脱ぎ捨て、新しい衣に着替える。これを先人達は、尊いことと悟ったのである。

私たちの体も、毎日食物の成分と入れ替わっている。常に新しい体へと脱皮している。簡単に言えば、1年で全く新しい体に生まれ変わる、といってもいい。実際はもっと早い。常に新しい状況に適応するため、と解釈してもいい。

荒磯釣りはアウトドアの最たるものと思っている。西のはなれから夕日の美しさ。深い海への畏敬の念。これを体験するに勝る健康法はない。



## ■平成10年度 児童学科講演会を開催

本学児童学科三年生を主たる対象にした、恒例の「児童学科講演会」が大講義室で二月十九日開催された。今回は九州大学教授で精神分析家・精神科医の北山修氏(写真)を講師に「日本文化と精神分析」という題でお話いただいた。

北山先生は「専門の分野ではわが国を代表する学者の一人である」とも「現に患者の治療に携わっている臨床医であり、学生時代は音楽グループ「ザ・オーケストラ」のメンバーとして幾多の名曲・ヒット曲を世に送り出したというユニークな経歴の持ち主でもある。

そうしたことをふまえ、先生の青年時代から始まり、精神科医への道のり、現在の「研究の一端や将来への課題な

ど、短い時間にも関わらず、内容豊富なお話を伺うことができた。

複雑化した現代社会にあつて、「心の病」を患う者が確実に増加しつつある。しかしそれに対応すべきカウンセラーの育成は遅れているのが現状である。精神科への誤解や偏見も、今だに根強いものがある。今回は特に身近な話題を中心に分かり易くお話しいただいたので、聴講していた学生たちからは心理学・精神分析学の領域に二層の興味を持ち、児童学に活かせる良いきっかけになったのではないだろうか。

なお、本講演会は、希望者には学部・学科学年を問わず開放されているので、今後とも多数のご来聴をお願いしたい。(文責/児童学科 深町健一郎)



終始ユーモアを交えながらの講演であった

## ■栄養科学研究科主催学術講演会

### 特別講演 食物アレルギーの現況

十二月九日大講義室で、大学院栄養科学研究科主催の「食物アレルギーの現況」と題する講演会が行われた。

講師は、前京都大学医学部小児科教授、現岸和田市民病院長の古庄善史氏である。

同先生の講演内容はテーマに沿った広範なものであったが、ここではアトピー性皮膚炎を例にして述べる。現在ライフスタイルの変化により、種々のアレルギー性疾患が非常に増加している。アトピー性皮膚炎はその代表的なものであり、乳幼児では二十五%、つまり四人に一人の割合にみられ、難治性である。皮膚科の方は副腎皮質ホルモン投与などを行っている。しかし食生活の関与が非常に大きい事が分かった。ダニ対策などを前提とした徹底的な食事コントロールで、七十〜八十%の者に治療や顕著な治療効果を認めた。

食品として卵、牛乳、大豆が第一の対象になる。以下詳しく述べるスペースはないが、食物アレルギー全般について、明快な、印象に残る講演であった。何人かの学生に後で聞くと、よく理解できたし、この分野に興味を持ったとのことだった。なお聴衆の数は、外部からの人を含め約二百五十人

であった。

この講演会は大学院の主催である。古庄前教授は私の三十年来の友人だが、この四月に日本医学学会総会で、食物アレルギーの現況という題で教育講演をする予定という話を聞いた。それでは是非本学でも講演をお願いしたいと思い、無理を言つて大阪から日帰りで講演に来て頂いた。食物、栄養は本学の大きな柱である。この方面の第一人者から、豊富な臨床体験に基づいた講演を聴けたのは、非常に良かったと思つている。

なお講演内容はビデオに撮つており、スライドの字は読めないものの、是非という方にはお役に立つと思う。最後に大学院研究委員の太田教授や他の方々、事務の方々のお骨折りに感謝したい。(文責/大学院研究科長 廣畑富雄)



## ■調理学実習講座

### 「プロの料理人による料理示範」第二回目

平成10年度特別講座料理示範の第二回目はテレビの「料理の鉄人」でおなじみの日本料理の鉄人、中村孝明氏を招き、平成十年十月十七日に行いました。中村孝明氏は二十数年日本料理の老舗「なだ万」に務められ、現在は国内外のなだ万の総括料理長として指揮に当たっておられます。伝統を踏まえながらも豪快且つ、独創的な日本料理は若者にも人気があり、観る人に料理の醍醐味を味わせてくれます。淡泊で、端正な格式ばった日本料理ではなく、現代にも通じる料理と味で、食べた人がなかなか安らぎを覚えるような親しみやすさがあります。

今回の料理は、なだ万秘伝の「だし」の取り方「はじまり」、黒胡麻豆

腐の茶碗蒸し、「平目のカルパチョ」明太子ソース、「加茂茄子グラタン」パジル風味、「秋刀魚焼きおにぎり」茶漬の四品でした。それは、旬の魚や野菜を使った季節感あふれる斬新で、おしゃべりな秋の香漂つ日本料理でした。「料理のこころと技」や「料理の鉄人」のノウハウなどを交えた料理示範は、時の経つのを忘れるほどでした。同じ九州長崎の出身で、熱い料理への情熱と、食べる人へのあたたかい思いやりのこころの大切さを語る姿は、その率直な人柄そのものでした。

「調理することへの関心を高め、より豊かな感性を育むこと」を目指したこの講座も回を重ねる毎に、多くの学生達に深い感銘と大いなる啓発

を与えています。また、おいしい料理を作ることは調理する喜びとともに、温かい思いやりの心の尊さを実感することと考えます。

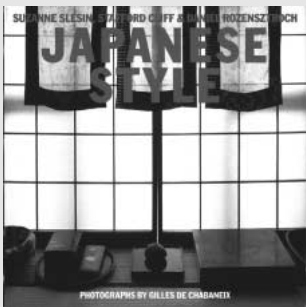
(文責/食物栄養学科 吉岡 慶子)



色とりどりの料理が並び

## 一冊の本

### 「JAPANESE STYLE」



短期大学部・家政科  
助手 大内 理恵子

『JAPANESE STYLE』は、建築雑誌、あるいはインテリア雑誌と思わせるような写真で埋めつくされています。私は、建築やインテリアに特別興味があったわけではないのですが、きれいな数々の写真に惹かれて思わず手にしてしまいました。

タイトルと表紙から初めは伝統的な古めかしい日本のスタイルを追求してあるものかと思いましたが、いい感じに裏切られました。

一言でいうと、とてもモダンなのです。コンクリートや鉄筋の写真もあれば、わらぶき屋根や博多人形の写真もある。新しいものと古いものが上手に調和されていて、きれいに整理された枠組みは見ていると気持ちいいと感じさせてくれます。視覚を満足させてくれるのです。

見ていくうちに建築・インテリア雑誌とは違うことに気づきます。その名の通り、スタイル集。日本のライフスタイルの一部を覗いている印象を受けます。

『JAPANESE STYLE』なのにこの本のディレクターに日本人は一人もいません。外国のライフスタイルにあこがれる日本人が多い今日、たまには違った視点から日本を見るのもおもしろいかもしれません。思っている以上にカッコイイ。日本の中にある日本的な風景(日常)を見直させてくれる一冊です。



キャンパスこの1年の動き  
海外出張の記録  
広報誌セロリの定期購読について



全国栄養士養成施設協会会長表彰・  
全国保母養成協議会会長表彰が決定  
外国人研究員受け入れ  
試験入学選考積雪のため時間繰り下げ



## キャンパスこの1年の動き

10月	9月	8月	7月	6月	5月	平成10年4月	11月	12月	平成11年1月	2月	3月
30日 第32回霜月祭(11月1日)	28日 小学校教育実習(10月23日 大学児専3年)	31日 保育所実習(9月10日 大学児専3年)	31日 「英語・文化海外研修」出発(8月26日 大学18名参加)	15日 学校給食・事業所実習(20日 大学食専・管専3年)	17日 学園創立記念日	4日 入学式(大学生三百三十七名 短期大学生七百九十二名 計千二百二十九名が入学)	19日 大学推薦入学選考・短期大学部家政科指定校推薦入学選考	24日 講義終了	29日 後期試験開始(29日)	20日 後援会地区連絡会開始(3月7日)	23日 大学院修了式(九名修了)
12日 保健所実習(16日 大学児専3年)	19日 公開講座(10月3日)	3日 「英語・文化海外研修」出発(8月27日 短期大学部26名参加)	31日 「英語・文化海外研修」出発(8月26日 大学18名参加)	8日 幼稚園実習(24日 大学児専3年)	15日 学園創立記念式典	6日 新入生オリエンテーション	20日 短期大学部卒業式(大学生三百七十八名 計千九百九十名卒業)	9日 食物栄養学科・食物栄養科学術講演会	14日 後期試験開始(29日)	21日 病院給食実習(3月17日 66名参加)	24日 謝恩会
5日 施設実習(14日 大学児専3年)	10日 教育ワークショップ	1日 情報処理セミナー(夏期講習会)10日	14日 前期試験開始(8月3日)	8日 施設実習(17日 大学児専4年)	15日 学園創立記念式典	4日 大学院入学式(五人入学)	30日 大学推薦入学選考・短期大学部家政科指定校推薦入学選考	12日 サークルリーダー研修(13日)	20日 後援会地区連絡会開始(3月7日)	22日 病院給食実習(3月17日 66名参加)	23日 謝恩会
5日 保育所実習(16日 大学児専3年)	8日 大学院第一次入学試験	3日 病院給食・事業所実習(8日 短期大学部食物2年)	21日 前期試験開始(8月3日)	10日 幼稚園実習(24日 大学児専3年)	17日 学園創立記念式典	6日 大学院入学式(五人入学)	20日 短期大学部卒業式(大学生三百七十八名 計千九百九十名卒業)	9日 食物栄養学科・食物栄養科学術講演会	14日 後期試験開始(29日)	21日 病院給食実習(3月17日 66名参加)	23日 謝恩会
5日 幼稚園実習(19日 大学児専4年)	10日 教育ワークショップ	1日 病院給食・事業所実習(8日 短期大学部食物2年)	14日 前期試験開始(8月3日)	8日 施設実習(17日 大学児専4年)	17日 学園創立記念式典	6日 大学院入学式(五人入学)	30日 大学推薦入学選考・短期大学部家政科指定校推薦入学選考	12日 サークルリーダー研修(13日)	20日 後援会地区連絡会開始(3月7日)	22日 病院給食実習(3月17日 66名参加)	24日 謝恩会
2日 リーダー研修	10日 教育ワークショップ	1日 病院給食・事業所実習(8日 短期大学部食物2年)	14日 前期試験開始(8月3日)	10日 幼稚園実習(24日 大学児専3年)	17日 学園創立記念式典	6日 大学院入学式(五人入学)	30日 大学推薦入学選考・短期大学部家政科指定校推薦入学選考	12日 サークルリーダー研修(13日)	20日 後援会地区連絡会開始(3月7日)	22日 病院給食実習(3月17日 66名参加)	24日 謝恩会
1日 幼稚園実習(15日 大学児専4年)	10日 教育ワークショップ	1日 病院給食・事業所実習(8日 短期大学部食物2年)	14日 前期試験開始(8月3日)	10日 幼稚園実習(24日 大学児専3年)	17日 学園創立記念式典	6日 大学院入学式(五人入学)	30日 大学推薦入学選考・短期大学部家政科指定校推薦入学選考	12日 サークルリーダー研修(13日)	20日 後援会地区連絡会開始(3月7日)	22日 病院給食実習(3月17日 66名参加)	24日 謝恩会

## 全国栄養士養成施設協会会長表彰・ 全国保母養成協議会会長表彰が決定

栄養士・管理栄養士課程を優秀な成績で卒業する学生に対して、全国栄養士養成施設協会が毎年表彰を行っているが今年も本学から三名の会長表彰を受ける。また、全国保母養成協議会も保母養成課程を優れた成績で卒業し保母になる学生を表彰しており、二名の会長表彰を受けることになった。表彰者には三月二十三日の卒業式当日、学長から表彰状が授与される。表彰者は次のとおり

### 全国栄養士養成施設協会 会長表彰



[大 学]  
食物栄養学専攻  
辻川 めぐみさん



[大 学]  
管理栄養士専攻  
小林 篤子さん



[短期大学部]  
食物栄養科  
大曲 邦晃さん

### 全国保母養成協議会 会長表彰



[大 学]  
児童学専攻  
新井 美穂さん



[短期大学部]  
幼児教育科  
進藤 美穂さん

## 外国人研究員受け入れ

中国科学院上海細胞生物学研究所助教 張 学軍氏を、平成十一年十二月十四日から、平成十一年三月十三日まで本学山元 寅男学長の研究室で受け入れた。研究内容は「血管平滑筋細胞に及ぼすビタミンD<sub>3</sub>の影響」。これは、日本国際教育協会の「帰国外国人留学生短期研究者制度」に基づくものである。



電子顕微鏡室にて

## 試験入学選考積雪のため 時間繰り下げ

二月四日、本学短期大学部家政科の試験入学選考が実施されたが、大雪に伴う交通機関混雑の影響を考慮し、当初の開始予定十時を一時繰り下げ、一限目を十一時から、二限目を十二時三十分から行った。  
この日は、終日雪の降り続くあいにくの天候ではあったが、大きな混乱も無く、試験は終了した。



この日福岡市は9年ぶりの大雪となった

## 海外出張の記録

- 氏名・職名 訪問国・期間 目的
- 権藤 與志夫 教授 シンガポール H 11・1 / 3 ~ 1 / 8
  - 松隈 紀生 助教授 シンガポール H 11・1 / 3 ~ 1 / 8
  - マイヤー ホーフ 講師 カナダ・アメリカ H 11・2 / 20 ~ 3 / 17
  - 中谷 安男 講師 家政科文化海外研修引率
  - 末次 裕子 助手 イギリス・フランス H 11・2 / 20 ~ 3 / 17
  - 家政科文化海外研修引率

## 広報誌セロリの定期購読について

個人で、今後「広報誌セロリ」の定期購読をご希望の場合には、封筒の表に「広報誌セロリ定期購読希望」とご記入の上、郵送料(二年間分)として八百四十円を同封し、広報室宛にご送付ください。(郵便為替をご利用ください)

なお、広報誌の発行は、年三回(三月、五月、十月)となります。  
また、二年後さらに継続を希望される場合には、新たに郵送料をご送付いただきますようお願いいたします。  
(定期購読についてのお申し込み・お問い合わせ先)

中村学園大学・中村学園短期大学 広報室  
(〒八二四 〇一九八)  
福岡市城南区別府五 七一  
Tel 〇九二 八五一 二五三(一)





セロリ「CELERY」は、野菜の中でも最も古い歴史を持ち、ギリシャ文学の初頭を飾る2大叙事詩のひとつ「オデュッセイ」の中にセリオンの名で見られます。本学では、校章にもセロリを図案化しており、本広報誌の名称にも採用しています。



セロリ 第32号 1999年3月19日発行  
編集：中村学園大学 中村学園大学短期大学部 広報室  
〒814-0198福岡市城南区別府5-7-1  
TEL 092-851-2531

〔ホームページアドレス〕 <http://www.nakamura-u.ac.jp/>